



NPO 法人流山市国際交流協会

NIFA NEWS

発行：NPO 法人流山市国際交流協会
〒270-0111 流山市江戸川台東 1-4 3F
国際理解サポートセンター内
☎：04-7128-6007
Email:nifa-support@bz04.plala.or.jp
http://nifa-home.sakura.ne.jp/

NIFAのホームステイはリアルを体感

今回は、ホームステイ事業部を特集します。様々な国の人を迎え、寝食を共にする生活は互いに得難い経験、地道な「草の根」の交流を重ねています。

発足：平成3年(1991年)NIFA発足の時からの事業部

現在29名の事業部員が、ホームステイの受け入れに応じています

受入の実績：

- ◇ ホームステイ
 - レッドランズ大学(米国)1995年頃から毎夏10名少々の大学生(2016年まで20年)
 - タイ、インドネシア、ベトナム高校生の受け入れ(10年くらい継続)
 - セントラルクイーンズランド大学(オーストラリア)(1994年から約10年)
 - 単発は随時受け入れ:2017年月はCoro Brianza (イタリアの男声合唱団)メンバー
- ◇ ホームヴィジット 麗澤大学の留学生 半日~1泊



レッドランズ大学の学生受入歓迎会にて、成人式前日和装に挑戦

普段のままに溶け込んで ~初めてのホームヴィジットを終えて~ ホームステイ事業部 谷口宏美さん

「一般家庭の様子を見てみたいのだから普通でいいのよ」と先輩方からアドバイスをもらい、事前の準備は夕食に炊き込みご飯や天ぷら、豚汁などを考えた程度でした。

日本ですでに数か月生活している台湾からの留学生は、二人とも「日本語は難しい」と言いながらも堪能で、5歳の娘もすぐに打ち解け、何の躊躇もなくおしゃべりしました。百人一首で坊主めくりを楽しみ、娘の遊びにも優しく付き合ってくれました。

外食中心の台湾に比べ、日本は外食の値段が高く、慣れない自炊に奮闘しているのだそうです。いよいよ夕食の時間。納豆やゴマ豆腐にもチャレンジ!「家庭料理は久しぶりです」とホームシック気味な最近の話もしながら、残さず食べてくれてうれしかったです!

初めてのホームヴィジットでしたが、日本での生活にある程度慣れているからか気構えることなくとても自然体で、こちらも近所の友達と話すような気楽な心持ちで、あっという間の土曜日の午後でした。一人っ子の娘は「一緒にお風呂に入ろうよ」「明日は何して遊ぶ?」とすっかりお姉ちゃんができた気分。とても幸せな時間を過ごすことができました。夏祭りにまた会おうねと約束したので、楽しみにしています!

ホームステイが日伊国交樹立 150 周年の橋渡し

ホームステイ事業部がこのたび初めてイタリアからの来訪者を迎えました。

昨年野田オペラ合唱団がイタリアで共演した縁で、男声合唱団'CORO BRIANZA'がミラノ北部のミッサーリア市から初来日、7月7日から4回の公演期間中、メンバー及びその家族を含め6名の方が当市にホームステイしました。

7月11日にその演奏を聴きました。来日メンバー20数名(全団員の約半数)がお得意の山の歌、古くからの宗教的な曲、世界の民衆の歌など多彩なレパートリーを披露。正確なピッチとノンビブラートで微妙なハーモニーも見事に響かせ、男声合唱特有の暖かさ、ふくよかさ、力強さに加え、普段着の親しみを感じる演奏を聴かせてくれました。

☆ホームステイしたメンバーへのインタビュー

インタビュー及び翻訳: 嶋村加奈子さん(NIFA 会員)

インタビュー: ロマーナさんとタルクイーニョさんご夫妻
Romana e Tarquinio



(G) 日本の印象は?

Che impressione che ha avuto del Giappone?

とっても良い。

Molto buona

(G) 驚いた事は何ですか?

Cosa ti ha colpito maggiormente?

整頓されている。掃除が行き届いている。

L'ordine. pulizia in ogni luogo.

人が親切。お寺。自然。時間を守る。

La gentilezza cortesia delle persone.

I templi. La natura. Il rispetto degli orari.

スーパーが整理されている。

L'organizzazione nei supermercati.

(G) 好きな食べ物は?

Quale piatto ti è piaciuto?

お寿司。サーモンとマグロのお刺身。焼き鳥。

Sushi. Salmone e tonno crudo. Spiedini di carne.

(G) ホームステイの感想は?

Comenti su homestay?

完璧! 私達を歓迎してくれているのが、とっても良くわかりました。

Perfetta! Ci siamo sentiti accolti molto bene.

全てにおいてありがとうございました。

razie di tutto.

イタリアであなた方を待っています。

Vi aspettiamo in Italia. チャオ Ciao

ベトナム高校生歓迎会

2017. 7. 15 (土) おおたかの森センターにて



☆ベトナムの高校生は熱い

NIFAの賛助会員である(公財)国際人材育成機構(I'M Japan)は、ベトナム高校生の来日研修を実施、そのうち9名(女子6人、男子3人)が7月14日から16日までホームステイしました。

15日にはおおたかの森センターで歓迎会、ホームステイ事業部の皆様が持ち寄った手料理を頂きながらおしゃべりやゲーム、ホストファミリーの舞踊を楽しみ、みんなで流山音頭を踊るなど多彩なプログラムでもてなしました。

この日にはかつてホームステイしたミンさんも見え、その時の経験が今の職や生き方に大いに役立ったというスピーチをされ、高校生たちを励ました。

生徒たちは皆将来への具体的な希望を持ち、その実現のプロセスとしても大切な来日。空梅雨の関東、この日も30度をはるかに超え、蒸し暑さをひとしおでした。彼らに「暑さは大丈夫?」ときいたところ、首を横に強く振り「NO」の返事。若さプラス希望へのエネルギーを感じました。



インタビュー NIFAの人

林 和代さん(ホームステイ事業部)

Q ホームステイで海外の方を受け入れられるようになったのはいつ頃からですか？

A 多分2004年頃からだったと思います。下の娘が4歳、上の子が中学生でした。

Q 子育てで大変な時期からですね。

A ええ、でも上の子のためにいいかなと思ひまして。もともと私は高校の時、3か月アメリカのオハイオでホームステイしました。とてもいい経験でした。その後も2年間ベビーシッターをしながら同じ州の大学に通いました。

Q その時の経験があつてのことですね

A はい、「広報ながれやま」でNIFAを知り、ホストファミリーをやりたいと話したところ、ホームステイ事業部を紹介されました。

Q 今までにどれだけ受け入れられてきたのですか？

A ニュージーランド、アメリカのレッドランズ大学、オーストラリアの他、ベトナム、タイ、インドネシアの学生を受け入れてきました。

或る時、違うところからの人がいいなあ、なんて言っていたところ、ホームビジットでブータンとペルーの方を紹介され、びっくりしました。

Q 一緒に受け入れられたのですか？

A はい、真逆なのです。ブータンは僧侶の方、着物も僧侶姿、真面目でお酒は無論だめ。ペルーは南米ですからお酒でもなんでもOKみたいな感じ。一緒に来てどうなるんだあ、と。

Q どうされました？

A 二人とも英語は話せるので、「何が好き？」というような話から始め、ブータンのお坊さんも何かを吸収したい、学びたいと思っているので「ダンスやる？」と誘ったところ、日本人と同じでリズム感がなく、おかしかったですが一緒にやりだしました。仏教の話には、ペルーの子は「へえ〜？」といった感じでした。

Q お互いに珍しがって？

A はい、わたしたちもすごくいい勉強になりました。ブータンにも行きたくなりました。ペルーの子はその後もつながっていて「スペインのここにいるよ」とか「いつマチュピチュに来るの？」とか、今でも時々メールで連絡をくれています。

Q 色々な国からの方を受け入れるにあたって事前に予習などされますか？

A 特にはしませんが、その国の歴史は前もって知るようになっています。主人が子どもと一緒に勉強するのを私がそばで「うん うん」と聞く感じです。歴史を知って受け入れるのとそうでないのでは、交流に違いが出るように思います。

Q ホストファミリーとして苦労、困ったこと、よかったことなど？

A 例えばアメリカ大学生を受け入れた時、決められた時間を守らず、随分遅い時間に帰ってくる子もいました。翌朝「あなたは大学生だから何をしてもいいけれど、私はホストマザー、日本のお母さんなの。そのことは忘れないでね。」と諭しました。

家族の誕生日を覚えていて毎年お祝いを送ってくれる子もいます。それも誕生日の本人以外の家族にも何か添えてくれるのです。そして宛先も住所が正しければ名前がなくても「お父さん、お母さん」で届くのです。日本語を勉強している子からひらがなの手紙が届くのも嬉しいですね。

Q その国の言葉が話せることは大切ですか？

A 言おうとしていることを伝えようとするのが大切だと思います。うまくその国の言葉を話せなくても、料理など一緒に作り上げた時の楽しさは大きいです。

♡ 楽しいお話しをありがとうございました。

(2017年7月12日
西山勝)



オーストラリアレッドリンチの高校生と林さんご夫妻

ホームステイ・ホームビジット

どうすればホストファミリーになれるの？

受入の準備

1. やり過ぎないこと、家族として受け入れることが大切です（＝特別扱いはしない）
2. ファシリティはそれほど重要ではありません
ベッド付き個室の提供はできなくても可能
子どもが小さければ同室してもらうもあり

3. ホームステイ中に観光地、レジャー施設へ連れて行くことは必須ではありません
日本の普通の生活を体験してもらうことが目的にもかかります
4. 試しにホームビジットから始めてみるのはよい方法です

受入の基本

- ※ NIFAのホームステイ事業部は、ホストファミリーの善意に基づいています
- ※ 対価を求めるものではありません（NIFAからは少額な補助が支給されるのみ）
- ※ 短期間であっても家族的な絆が生まれ、帰国後も長期に亘る交流が大きな喜びです



オランダ教室

☆市内の小学6年生は少々‘オランダ通’



今年の6月、7月で市内の小学6年生は少しばかり‘オランダ通’になりました。市内在住のオランダの方、ヨス・ニフェュスさんが全16の小学校を訪れ、“オランダ教室”を開講したからです。

2020 東京オリンピック、パラリンピックでは、千葉県がオランダの事前合宿地に指定され、流山はハンドボール、バレーボール、卓球などの候補市になっています。この機会にオランダが身近な国になるよう、NIFAが市から委託され、企画を実現しました。

講師役のヨスさんは、オランダの位置、国造り、日本との関わり、風物、文化、産業、スポーツなど多岐にわたり説明。簡単なオランダ語の紹介や○×ク

イズ（Yes=Ja, NO=Nee）を取り入れ、コンパクトで興味を持続させるような授業を展開しました。どこでも質問が沢山、40分の予定はすぐに過ぎてしまいました。

ちなみに“ランドセル”はオランダ語、ここからオランダの子供はランドセルを持たない、教科書は学校に置いたまま、宿題はないなどの話しになると、どこでも羨ましさいっぱいの「ウワーッ」の歓声。

この企画は2019年まで3年続き、その頃には4千5百人前後の子どもたちが授業を受けることになりました。もともと流山市とオランダは運河を介して浅からぬ縁があり、もっと身近な国になりそうです。



お詫びと訂正

前号(2017年6月1日号)の6ページでワールドハーモニーの新しい講師のお名前を「熊谷美智子」とご紹介しましたが、「熊谷道子」さんの誤りでした。ここに改めてお詫び申し上げ、訂正します。

国際交流サロン ～世界を知ろう～ ケニア

今日のケニアは地球の縮図

2017.6.25(日) キッコーマンアリーAB 会議室

その日のプレゼンテーションは、ケニアの人たちが民族衣装に身を包み、輪になり、歌い踊るシーンから始まりました。アコーディオンがその蛇腹を伸縮するのに合わせて発する単純な音色とトライアングルのような金属音に合わせて。

今回はケニアがテーマ。この 1 月から東京大学大学院新領域創成研究科に赴任されているデイヴィッド・ムンガイ先生をお招きしてサロンを開催。ケニアについての幅広い紹介に加え、先生の専門である農業気象学から見たケニアの課題などにも触れていただきました。

ケニアは古来多方向からやってきた人たちが混じり合ってきた国、変化に富んだ地勢にも恵まれ観光、農林水産業を中心に栄え、独特の風俗、習慣を保ちながら発展してきました。しかしグローバル化に伴い、首都ナイロビを中心に急激な都市化が進行し、アフリカの金融センターとしての役割を持つ国へと変貌の真っ最中。私たちに馴染みのある国立公園の風景の他、昔ながらの住居様式(Kikuyu architecture)、人の成長過程で執り行なわれる儀式(Rights of passage)、教育(Gikuyu education)の姿は印象的。その一方ではナイロビの大交通渋滞、まるでどこか欧米の金融中心街のような光景は、ケニアの現状だけではなく、まさに世界が、特に発展途上国が抱える問題を浮き彫りにしたような光景です。

ムンガイ先生の多方面に亘るお話の後、Q&Aも沢山。今回は英語だけではなく、質疑は日本語でも要約を加えました。昨年を超える 45 名の方が参加、広い年代の方が《もったいない》を提唱されたマータイさんの国と近くなりました。



会員の声

NIFA をもっと地域に広げて

国際交流サロン 村上達夫

最初に自己紹介から始めます。私、村上達夫は流山に引っ越してきてから約4半世紀。現役の時には国際部で主に豪州を中心に仕事をしていました。退職後は成田空港で案内ボランティアを今も続けています。趣味は、ギターと水泳、ギターはまだまだ初心者ですが、水泳は流山セントラルに9年近く毎日通って4種を練習しております。

NIFA との関わりは、最初日本語を外国人に教えることに興味を持ちましたが、日本語を教えるのに資格が必要と分かり、現在は国際交流サロンに属しております。

また流山では日本語の観光案内はあるのですが、英語の案内がないので NIFA で対応できるのではないかと思います。但しもう既にあるのに気が付いていないか、または松戸ほどの需要が流山にはないのかもしれませんが・・・。

外国語で会話を楽しみたい

～韓国語サロン開店、英語は準備中～

「講習を続ける自信はないけれど外国語の会話に関心はある」、「もっと会話を楽しみたい」、「会話を通してその国のことを知りたい」などの希望を実現しようと、本部と外国語講座事業部が準備を始めました。

先ず7,8月に「韓国語会話サロン」を開店。1人から数人のグループで、時間も参加者の希望を取り入れ、ハングルの読み方、簡単な会話の練習、韓国での公演チケットの入手方法、旅行のお勧めスポットの紹介などほとんどオーダーメイドの内容。ワンコインの参加費でお茶菓子つき、気軽に楽しめる90分。



講師は小谷日果里さん、幼少の頃から韓国語に興味を持ち、金淑花さんにも個人指導を受け、昂じて単身韓国に渡り、現在東亜芸術大学の3年次の学生。外国語を身に着ける姿勢も含め筋金入り、夏季休暇の期間をサロンに充てて下さいました。延べ約70名の方が参加され、くつろいだ雰囲気の中、希望通りのサロンで大好評でした。

そして8月3日(木)には

「韓国語会話サロン～特別

編～」まで開きました。(キックマンアリーナで)昨秋、「フェスタ2016」に出演されたミュージカル俳優のイム・ヨセプさんが急遽来日、その機に合わせての開催。当日は「ハッピーバースデー」を韓国語で歌ったり、ヨセプさんの演奏の他、日果里さんとのトークショーやQ&Aに大いに盛り上がり、日韓バイリンガルの進行で、約40名の参加者には気軽に韓国語に触れるまたとない機会でした。韓国語サロンはしばらく閉店、これから英語サロンの開店準備を始めます。



催し物案内

☆フェスタ2017

日にち:10月9日(月・祝) 13:30開演(13:00開場)

場所:流山エルズ(流山生涯学習センター) 多目的ホール

テーマ: Feel the rhythm of the planet

出演: ARIYA(ブレイクダンス), PAN NOTE MAGIC(スティーロパンバンド)
木蘭扇、World Harmony

- 「ARIYA」は、国内外のダンスバトルやコンテストで優勝を収め世界で活躍するダンスアーティスト集団。
- 「PAN NOTE MAGIC」はスティーロパンの音色に魅せられ結成されたバンド。その優れた音楽性が国際的に高く評価されたスティーロパンオーケストラです。

※爽やかな秋のひと時を、会員の皆様、ご家族、お知り合いの方共々、
世界トップレベルのパフォーマンスでお楽しみください。



☆流山市民祭り(10月29日(日)9:00~15:00 流山総合運動公園)

- 内容:NIFAは、今年も「世界の民族衣装を着て写真を撮ろう」で出展を予定し、応募しています。

※参加が決まりましたら告知や、当日のお手伝いなど後日改めてお願いします。

編集後記

前号で三嶋栄子さんがお辞めになりました。それまでのご尽力にお礼申し上げます。
新たに今回から李明勲さんに加わって頂きました。
(広報部長:小谷良美、部員:西山勝 李明勲)